

いまこそ、じぶんもほかの人もたいせつにしよう!

～しんがたコロナウイルスかんせんしょうと人のたいせつさ～

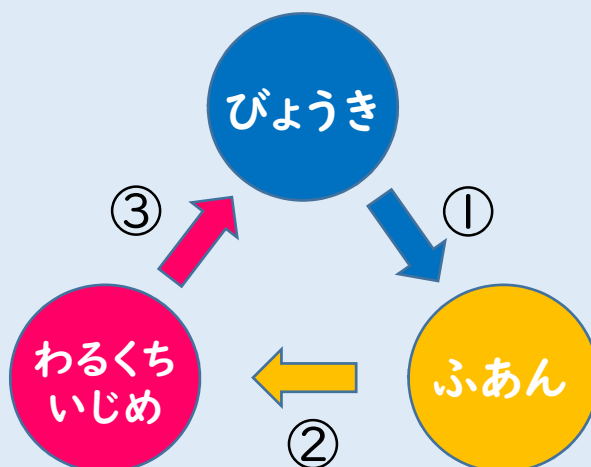


これまで、ただしくしることでできていなかったり、よくわからなかったりしたことから、学校やちいきなどで人がたいせつにされないできごとがくりかえされてきました。たとえば、びょうきにかかった人にたいするさべつやいじめなどのもんだいです。

ざんねんなことに、「しんがたコロナウイルスかんせんしょう」にかかわって、さべつやいじめなど、かなしいはなしがニュースなどでつたえられています。どんなときでも、人をきずつけるようなわるくちやいじめは、ぜったいにあってはならないことです。

みなさんはこれまで、じぶんもほかの人もたいせつにすることをまなんできました。「しんがたコロナウイルスかんせんしょう」のもんだいがおこっているいまこそ、どんなことができるかをかんがえ、こうどうであらわしましょう。

【わるくちやいじめによって かんせんしょうが ひろがるしくみ】



※日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」を基に作成

どうすればいいの?

- ①はじめてみつけれられたウイルスで、わからないことがおおいので、ふあんがうまれます。ただしいじょうほうをもとに、びょうきのかんせんよぼうをおこないましょう。
- ②ふあんなきもちから、ウイルスをとおぎきたいきもちが生まれ、ある人たちをせめたりなかまはずしたりすることであんしんしようとします。ふあんなときは、せんせいやおとなにそうだんしましょう。
- ③わるくちやいじめをうけるのがこわくてねつやせきがあっても、それをかくすようになり、びょうきのひろがりにつながります。ほんとうかどうかわからないうわさをしんじたり、ひろげたりしないようにしましょう。

いま じぶん ほか ひと たいせつ 今こそ、自分も他の人も大切にしよう!

しんがた かんせんしょう じんけん
～新型コロナウイルス感染症と人権～



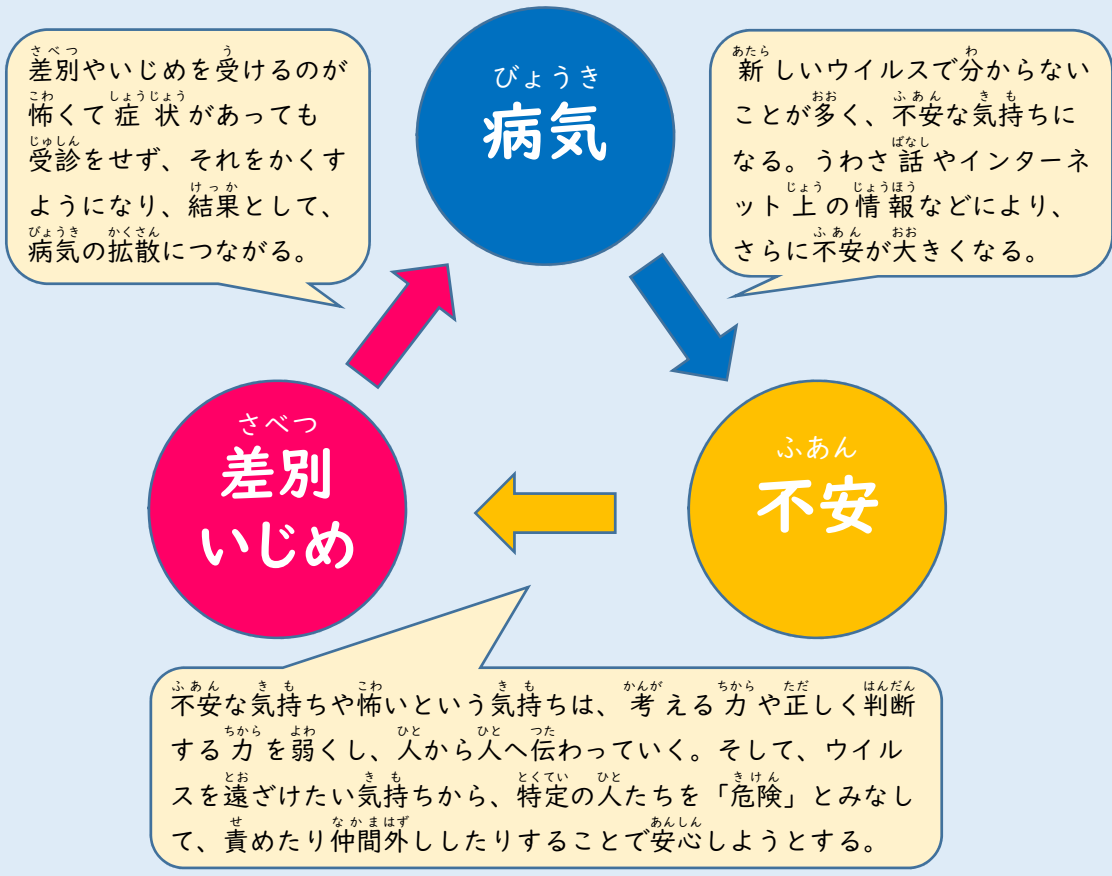
これまで、正しい知識や理解が足りないことから、学校、職場、地域など、いろいろな場面で人が大切にされないできごとがくり返されてきました。例えば、ハンセン病などの病気にかかわる人、東日本大震災による原子力発電所事故により避難した子どもに対する差別的な言動やいじめなどの問題です。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症に対しても、思いこみやかたよった見方による差別的な言動やいじめなど悲しい話が報道されています。どんなときでも、人を傷つけるような言動やいじめは、絶対にあってはならないことです。

みなさんはこれまで、自分も他の人も大切に学習を通して、差別やいじめをゆるさず、お互いを大切に、いっしょに生きることの大切さについて学んできました。

新型コロナウイルス感染症の問題が起こっている今こそ、学んだことを行動であらわすときです。自分のことも他の人のことも大切にするためにどんなことができるか考え、行動しましょう。

【差別やいじめによる感染症拡大の仕組み】



いま たが じんけん たいせつ 今こそ、お互いの人権を大切にしよう！ ～新型コロナウイルス感染症と人権～



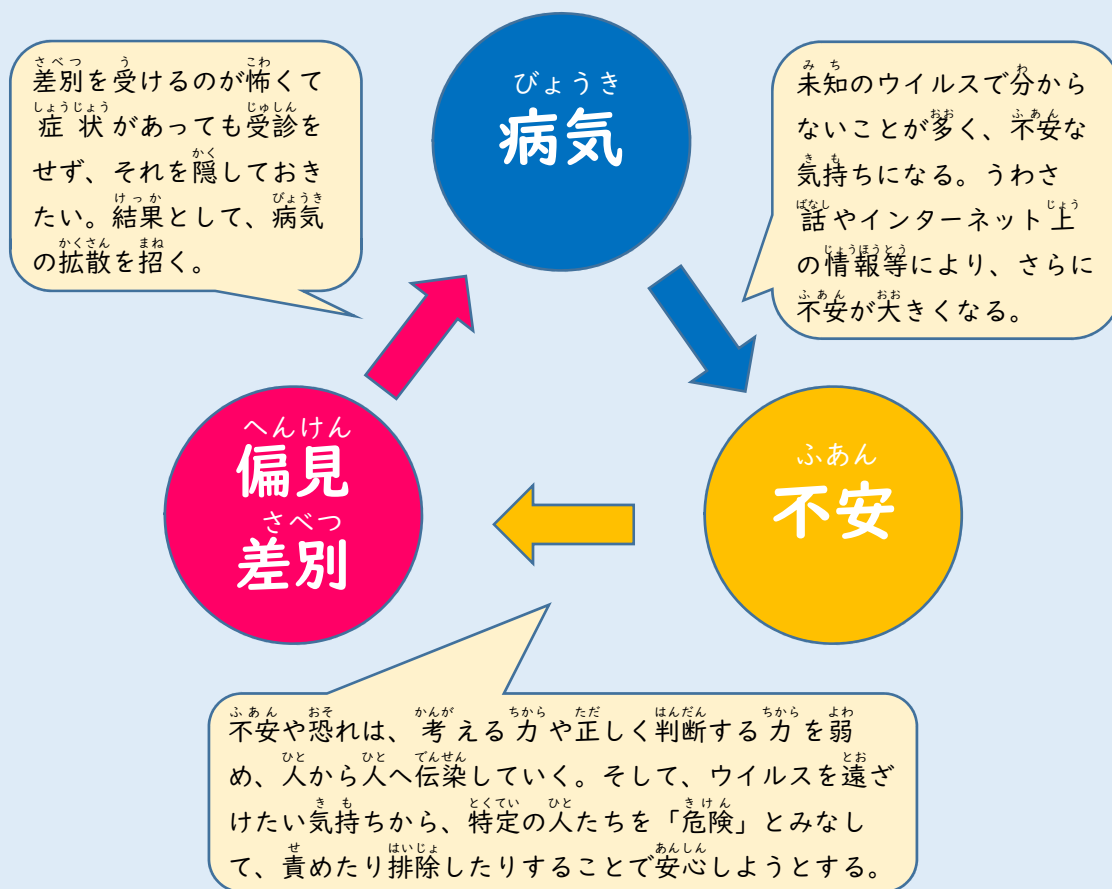
これまで、ハンセン病やHIV感染症・エイズへの偏見や差別、さらには福島第一原子力発電所事故により避難した児童生徒に対する差別的な言動やいじめなど、正しい知識や理解の不足から、学校、職場、地域、医療現場等、日常生活や社会の様々な場面で人権が侵害されてしまう出来事が繰り返されてきました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症に関連して、誤解や偏見に基づく差別的な言動や取扱いなど悲しい事例が報道されています。どんなときでも、人を傷つけるような言動やいじめは、絶対にあってはならないことです。

みなさんはこれまで、人権教育を通して、差別の不合理さに気づき、互いを尊重し、共に生きることの大切さについて学んできました。

新型コロナウイルス感染症の問題に直面している今こそ、学習の成果を行動で示すときです。自分の人権も他の人の人権も大切に作る行動について一人ひとりが考え、実践しましょう。

【偏見や差別による感染症拡大の仕組み】



(共通)

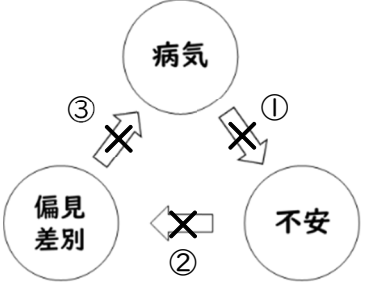
「今こそ、お互いの人権を大切にしよう! ~新型コロナウイルス感染症と人権~」指導の流れ

鳥取県教育委員会

【学習のねらい】

新型コロナウイルス感染症に起因する偏見や差別は、人権を侵害するだけでなく感染拡大につながってしまうことを理解するとともに、自他の人権を尊重するための実践行動への意欲をもつことができる。

【学習の展開】(15分)

学習活動	指導上の留意点
1 新型コロナウイルス感染症に関して起こっている問題について知る。	○チラシの上部の文章を読み、これまでの学習を振り返る。 ○これまで新聞等で報道された事象をいくつか紹介し、感じたことを発表させる。
2 偏見や差別の問題が起きる原因や問題が引き起こす感染拡大について理解する。	○チラシの下部の図をもとに、インターネット上の情報等により不安な気持ちが大きくなること、安心感を得るために特定の人を責めたり排除したりしてしまうこと、偏見や差別が人権を侵害するだけでなく、感染を隠したり、症状があっても受診を避けたりするようになり、結果として感染拡大につながることを説明する。
<p>3 どうすれば連鎖的な悪循環を断ち切ることができるかを考える。</p>  <p>※「偏見・差別」については、「小学校下学年・特別支援学校」は「わるくち・いじめ」、「小学校上学年・特別支援学校」は「差別・いじめ」</p>	<p>○それぞれの連鎖を断ち切るために自分にできることを考えさせる。</p> <p>①「病気」が引き起こす「不安」を断ち切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい生活様式」を実践し、感染症対策を徹底する。(手洗い・咳エチケット・三つの密を避ける) ・根拠のないうわさ話やインターネット上の情報等に振り回されないように、公的機関が発信する確かな情報を収集し、正しい判断と行動をする。 <p>②「不安」が引き起こす「偏見・差別」を断ち切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安な気持ちから特定の人たちを責めたり排除したりせず、正しい情報に基づいて冷静に行動する。 ・信頼できる大人や相談機関に相談する。 ・不安を感じている人を見かけたら優しい声掛けをする。 <p>③「偏見・差別」が引き起こす「病気」(拡大)を断ち切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上には不確かな情報が数多くあることを認識し、そのような情報やうわさ話を信じて周りの人に言いふらしたり、SNSで発信・拡散したりしない。 ・情報を発信する自分の行為に責任をもつ。 ・この事態に対応しているすべての人たちへ感謝し、応援する気持ちをもつ。
4 この問題に対して正しく行動しようとする意欲を高める。	<p>○どんなに注意していても感染することはあり、感染者等への偏見や差別は不合理であること、自他の人権を守る行動が感染症拡大防止につながることをおさえる。</p> <p>※新聞記事等に掲載されている医療関係者等の状況や思いを紹介してもよい。</p> <p>※まとめとして日本赤十字社作成の動画「ウイルスの次にやってくるもの」(3m17s)を見せてもよい。 (https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4)</p>

☞「日本赤十字社『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~』も参考にする。(http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html)

※「新型コロナウイルス感染症対策」「新しい生活様式」「相談機関」等については、鳥取県ホームページや教育委員会が作成した資料やガイドラインを参考にする。